

「ガイドボランティア*」

清水陽子さん、澤登智明(ちあき)さん、安部由美子さん

カエデさんの登校日が、私たちの出番です

高齢者向け配食のボランティアをしていた清水さん、コロナの影響で活動できなくなった時、金沢区移動情報センター*のコーディネーターから「ガイドボランティアを頼めませんか」と声がかかりました。

神奈川県立金沢養護学校に通うカエデさんを自宅に迎えに行き、スクールバスに乗せるまで20分ほどの活動です。

清水さんは知り合いの澤登さんに声をかけ、澤登さんは安部さん



この日の担当は清水さん。傾斜のある歩道を慎重に進みます



車内で車いすを固定し、安全を確認をします

に声をかけ、「チームカエデ」になりました。

登校する月～金曜の朝、週1・2回/1人の分担です。

3人とも障害のある人の登校支援、車いすを押すのも未経験でしたが、慣れるにつれてカエデさんに変化が…

「スクールバス

を待つ間のおしゃべりが続く(清水)」

澤登さんは、小学校の支援学級でもボランティアを始めた行動力のある人ですよ/清水

清水さんはガイドボランティアに飛び込んだようなもの、偉いです、真似できない…/安部

安部さんに一緒にやってみない? って声を掛けたら二つ返事で仲間になってくれました/澤登



ようになり、「きょうはどうやって接してみようか考えるのが楽しく(澤登)」なり、「迎えに行く私に手を振り、おはようって言ってくれる(安部)」ようになりました。

ガイドボランティアに関心がある方は**金沢区移動情報センター***にお気軽にお問合せください

相談・登録・お問合せ先 社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会 **金沢区移動情報センター**

専用電話 045-786-8034 FAX:045-784-9011 E-mail: info@kanazawa-shakyo.jp

月曜～金曜 9時～17時 土・日・祝・年末年始除く

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5 いきいきセンター金沢内 ※京浜急行線「金沢文庫駅」より徒歩7分

善意銀行寄託者 (令和4年6月1日～9月30日) 以下の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。(敬称略・順不同)

★ 横浜ポートヒルライオンズクラブ 金沢茶道会、ヨコソウマシニカル株式会社、富岡六地藏奉賛会、ユニー(株)アピタ

★ 金沢文庫店、しろうさ店长、黒崎結衣・莉緒、アミーガ(手芸の会)、森山久美子、奥山義昭、日本発条労働組合 横浜支部、

★ イトーヨーカドー労働組合 能見台支部、匿名5名 計: 625,438円、物品(食品ほか)

★ ※区内の福祉団体へ配分します。ご協力ありがとうございました。

「福祉かなざわ」(年3回発行)は、赤い羽根共同募金の配分金を使って発行されています。

120号 福祉 区民参加の社協広報紙 **かなざわ**

きっかけ + つながる =

第4期金沢区地域福祉保健計画推進中～!



あなたもきっと! **地域で輝く★**

さあさあ皆さん! 中面へどうぞにゃ!



「福祉かなざわ」編集委員会 社会福祉法人横浜市**金沢区社会福祉協議会**

公式LINEアカウントはこちら!



〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5 Tel 788-6080 Fax 784-9011 HP <http://www.kanazawa-shakyo.jp/> Mail info@kanazawa-shakyo.jp

*録音版をご希望の方は、金沢区社協までお問合せください。

私たちも4面に登場します!



**富岡小学校ボランティア「花だん隊*」
杉浦千鶴さん**

*平成27年、富岡地域ケアプラザが行う地域におけるシニアパワー発揮推進事業として始まった

小学生と話したり種をまいたり、が楽しいんです

富岡地域ケアプラザでデイサービスのボランティアを始めたのがきっかけで地域のいろいろな事業に関わるようになりました。「花だん隊」の一員になって7年は経ちます。

花壇の除草、土づくり、授業の一環で子どもたちと一緒に野菜や花の種をまいて育てます。

収穫する野菜は給食の材料になることもあります。子どもたちから元気をもらっています。

地域にも知り合いが増え、手伝って、と相談すればこたえてくれるのが嬉しいです。



花だん隊の皆さんと

この日も袋いっぱい草を刈りました



家にじっとしてられないので、外で動いているのが合っているんです



**子育てサークル「金沢区ママ*」代表
上野さやかさん**

*平成19年に上野さんが立ち上げた子育てサークル。イベント企画・運営、育児相談なども行っている

**ママのために、自分のために
即行動・即実行です**

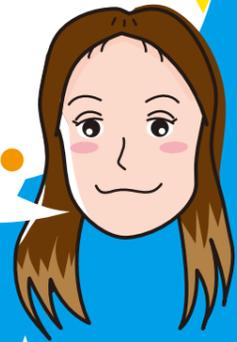
15年前長男を出産した時、同世代ママが集まって話したり過ごしたりする場がなく、相談相手もない状況が続いていました。それなら同世代ママのコミュニティを作ろう!と「金沢区ママ」を立ち上げました。続けていく中でたくさんの方たちと出会い、接点ができました。

子育てサークルと、SNSでの情報発信を軸に今後も金沢区での子育てが楽しい!と思ってもらえるよう活動を続けていきます。特技を生かしたママたちの活躍の場づくりにも力を入れているので興味のある方はぜひ参加してほしいです。



活動場所のルンビニー-つながりの庭-で(左) イベント出店での上野さん(右)

子育ての大変さは私も経験しているので、ぜひリフレッシュしに来てください



小さなきっかけが繋がって...地域で輝く星になる★

**「ふるさと侍従川に親しむ会*」代表
山田陽治さん**

*会は、大道小学校のトンボ池(しぜん広場)から始まり、現在の名称になる。(朝比奈の森を源流とする侍従川は、区内を流れ、金沢の海に注いでいる)

自然と向き合って、輝く人になってほしい

生まれ育った時から侍従川が身近にあったから、しぜんと関わるようになったようなもの。

ドブ川のような時期も流れに入って遊んでいました。30年ほど前からメンバーの一人として関わっています。川は、下水道整備とともに汚れは減り、ヨシの成長で水質も向上しました。流域の小学校、町内会の人たちが水草を植えたことで、川への愛着もできたのでは。20代の頃は、自然と向き合うことで輝いていた。いまの子どもたちにもそうなってほしいです。

川の環境保全是多くの人の手で、長い月日をかけて、という考えで活動しています



活動場所近くの流れに立って

写真提供: 山田さん

**「富岡宮元囃子会*」会長
野本修三さん**

*平成15年発足、それまでは森浅間神社 神田囃子保存会(磯子区)に師事していた

囃子の音に、絆や繋がりを感じてもらえれば

自分たちの囃子を作りたいという気持ちから仲間と始めました。

富岡八幡宮で練習を始めると、少しずつ子どもたちの参加者が増えてきました。

まちを離れても、祭りに行けば普段会わない人に会える。それがいいところだと思います。

10数年前、町内会から太鼓を寄贈され、続けなくちゃいけないって責任を感じました。

いま参加している子どもたちの中には大学生がいる。私ができなくなっても、その子を中心に、富岡の子どもたちが宮元の囃子を続けてくれれば、と期待しています。



祭りがある限り、お囃子は欠かせません(囃子会の練習の様子)

私が10年かけて覚えたことを子どもは、1年で覚えちゃう。若いというのは素晴らしいね

